

"高千穂町初" 特産の五穀と水を使った『高千穂五穀エール』 7月1日から数量限定発売開始！

～当日14時から『高千穂五穀エール完成報告会』を開催します～

株式会社高千穂まちづくり公社（宮崎県高千穂町長、代表取締役：甲斐宗之）は、高千穂町初となる、オリジナルクラフトビール『高千穂五穀エール』を、当社が運営する「道の駅高千穂」「がまだせ市場直売所 鬼八の蔵」の2店舗にて、数量限定で販売開始いたします。

7月1日には『高千穂五穀エール完成報告会』を行います。代表取締役兼、高千穂町長の甲斐宗之に実飲して頂きますので、報道関係者のみなさまにもお集まりいただければと存じます（※詳細は以下参照）



【高千穂五穀エール報告会 概要】

日程：2024年7月1日(月)

時間：14:00～

場所：高千穂町役場 町長室

お問い合わせ

担当者：内倉亜澄

TEL：0982-72-5048

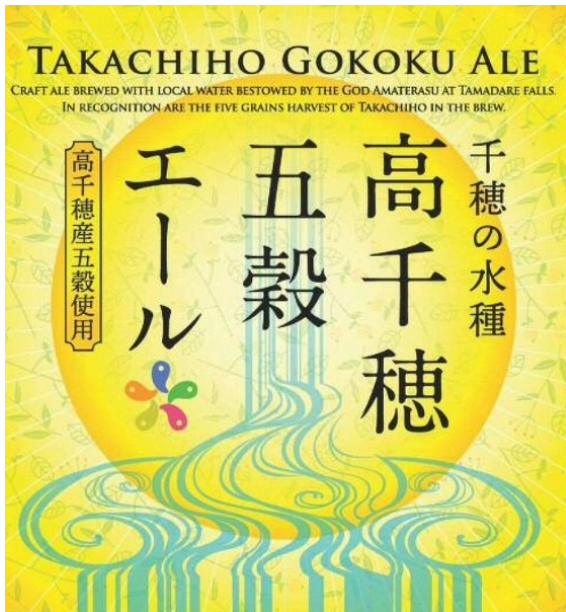
メール：michinoeki.sm@kousha.co.jp

『高千穂五穀エール』は、高千穂町産の五穀「米」「小豆」「割とうきび」「もち麦」「はと麦」を使い、高千穂峡を流れる『玉垂の滝』の水を使った、こだわりぬいた素材で作られた、高千穂町初のお土産用クラフトビールです。

今回使用した高千穂町の五穀は、高千穂の清らかな水で育ち、地元の農家さんの手で収穫され、それがブルワーさんに渡り、技術と知識を持つ職人さんの手によって最高のビールが完成いたしました。

アルコールは5%。何度も飲みたくなるような親しみやすい物を目指した、ラガービールです。

■こだわりのラベルデザイン



ラベルデザインは、これまでひでじビールの数々の個性的なデザインを手掛けたデザイナーに作っていただきました。

神話の伝承が残る高千穂町らしい「太陽-アマテラス-」や「光」をモチーフとし、アマテラスの命を受けた水と農の神「アメノムラクモノミコト」が水の種をまいたとされる「天真名井(あまのまない)」と「真名井の滝」の水源の一つ「玉垂の滝」をイメージしています。また、その水から育った「五穀」や「豊穰」を願い、背景には若葉が生い茂っております。

サブタイトルの『千穂の水種』には『千穂="千"の"禾(穀物の総称) 恵(恩恵)』と『水種=水があることによって五穀を育てる』という意味が込められています。今回のオリジナルビールは『水の種類』が主体であり、水があるからこそ五穀に繋がっていくという想いが込められています。

デザインをよく見ると「五穀」が育つための「太陽」と「水」が巡ってつながっている、とてもおもしろいものとなっております。

■快く商品開発を引き受けて頂いた「宮崎ひでじビール」

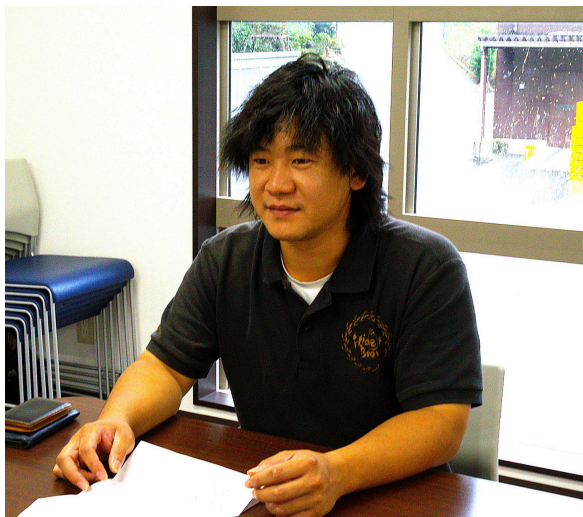


新商品企画を提案しても、多忙なためお断りすることもあるとお聞きしました。

今回の『高千穂五穀エール』の開発にあたり、延岡にある「宮崎ひでじビール」社長の永野時彦さんに高千穂町へ来ていただいております。

実際に高千穂町を見てもらい「高千穂っていいところだな」「高千穂の良さを広めたい」という同じ思いから、2023年の夏頃 商品開発が始まりました。そうして約1年の月日が経ち、ひでじビールこだわりの酵母や五穀、水を使って生まれたのが『高千穂五穀エール』です。

■開発担当者さんに聞いてみました



「宮崎ひでじビール」開発担当 森 翔太さん

・こだわり

今回のオリジナルビールの開発にあたって、高千穂町には神話と文化が今でも引き継がれており、その背景を大切にしたいという想いを込めました。高千穂で生まれた五穀、それぞれの素材を引き出すために比率をこだわり、丁寧に製造しました。

五穀の「とうきび」は高千穂らしい穀物で「あずき」はお祝い事に使われポジティブなイメージがあり「お米」にも神事に必要な酒の素材でもあるし、全てに神話性がある。その様なそれぞれの物語をひとつの商品にこめられたらと思い作り上げました。と語られていました。



・美味しい飲み方

また、美味しい飲み方をお伺いすると「温度は6～10℃」が一番香りがわかるのでオススメです。キンキンに冷やしすぎると香りがわかりにくくなってしまいますので、冷やしすぎはオススメしないそうです。

おすすめのグラスは直線的な背の高い『ピルスナーグラス』ですが、高千穂町の名物『かつぼ酒』のように、切った竹で飲むのもおもしろいです。

原料に五穀を使っているということで、和食に合うビールに仕上がりました。高千穂の神楽で振舞われる『お煮しめ(椎茸、油揚げ、筍、人参、里芋などの煮付け)』にも合います。

■社長の想い



「宮崎ひでじビール」社長 永野時彦 さん

高千穂町には古事記にある神話があり、そういう背景があるということがとても大切だと仰っていました。水にまつわる神話や豊穰の物語があり、そういったものを『高千穂五穀エール』という一本の中に表現することができたことがとても良かったと仰っていました。

■『高千穂五穀工ール完成報告会』を開催いたします



7月1日の14時から、『高千穂町役場 町長室』にて『高千穂五穀工ール完成報告会』を開催いたします。
弊社の代表取締役であり、高千穂町長の甲斐宗之に完成した『高千穂五穀工ール』を飲んで頂きます。

報道関係のみなさまにも、ぜひお集まりになって頂きたいと存じます。
お問い合わせ先は以下までお願いいたします。

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井802番地3
株式会社高千穂まちづくり公社

所属	商品企画開発チーム	担当者	内倉亜澄
連絡先	0982-72-5048	メール	michinoeki.sm@kousha.co.jp

■『高千穂五穀工ール』販売場所

道の駅高千穂 営業時間：8:30～17:00（無休）

<https://goo.gl/maps/vVAXCxpjZ2TYEmdo8>

高千穂がまだせ市場直売所鬼八の蔵 営業時間：9:00～17:00（不定休）

<https://goo.gl/maps/c3iypSeeRAvrK8aq7>

ただいま準備中の弊社ネットショップでも販売予定でございます。

【株式会社高千穂まちづくり公社とは？】

2022年7月に、宮崎県高千穂町が出資し設立された地域商社です。

持続可能な高千穂町をつくるため「高千穂型地域商社モデル」の実現へ向けて、「地域物産流通の再生」と「情報発信(デジタルマーケティング)」に取り組み、地域内経済循環を促します。とくに、町内の直売所運営（道の駅 高千穂・がまだせ市場 鬼八の蔵）とふるさと納税業務、インターネット通販等を担うことで、地域物産流通の最大化に向け、新しい販路の開拓を行ないます。また、情報発信では、メディア対応のほか、デジタルマーケティングを積極的に取り入れ、関係人口・交流人口の創出へ繋ぐ役割も担います。

【株式会社高千穂まちづくり公社の主な事業】

▶物産事業部（物産館3店舗運営）

- ・道の駅高千穂
- ・がまだせ市場直売所 鬼八の蔵
- ・高千穂健康保険病院 売店

▶オンライン事業

▶未来づくり事業部

【宮崎県高千穂町とは？】

高千穂町は九州山地のほぼ中央部、宮崎県の最北端に位置し、町の中心部を五ヶ瀬川が西北から南東にかけて貫流し、途中、名勝天然記念物「高千穂峡」が神秘的かつ雄大に自然に創出しています。天の岩戸開きや天孫降臨などの神話の地としても知られています。主な特産品は、宮崎県産牛ブランド「高千穂牛」、釜炒り茶、夏秋野菜、ラナンキュラス、原木しいたけ、棚田米などがあります。

▶まちづくり公社ウェブサイト

- ・ <https://kousha.co.jp>

▶高千穂マガジン たかちほ まびい

<https://takachiho.online/>

▶高千穂町ふるさと納税ポータルサイト

- ・ふるさとチョイス <https://www.furusato-tax.jp/city/product/45441>
- ・楽天 <https://www.rakuten.ne.jp/gold/f454419-takachiho/>
- ・ふるなび https://furunavi.jp/municipal_single.aspx?municipalid=1656
- ・さとふる <https://www.satofull.jp/town-takachiho-miyazaki/>

【お問合せ先】

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井802番地3

株式会社高千穂まちづくり公社

所属	商品企画開発チーム	担当者	内倉亜澄
連絡先	0982-72-5048	メール	michinoeki.sm@kousha.co.jp